

平成17年度 決算について

いなべ市長
日 沖 靖

平成17年度の決算がまとまりましたので、いなべ市の財政状況について報告いたします。

近年、国からの補助金や交付金の大幅な削減などにより財政難に陥る自治体が多い中、幸いにしていなべ市は、大手企業の好調な業績に支えられ、市税収入が5%（約4億円）増加し、過去最高を記録しました。それに伴い、財政力も向上しましたが、それでも全体の実質単年度収支は約1億円の赤字となっています。

使ったお金（歳出）を同じような規模の市と比較しますと、北勢線の運営負担金などが含まれる総務費、藤原の農業公園の整備や過去のはほ場整備の負担が大きい農林水産業費、小中学校の校舎整備など教育費が多く、逆に土木費が少なくなっています。性質別では小中学校の校舎整備や阿下喜温泉の建設など投資的経費が大きいのが特徴です。

また、借金の返済金の割合（実質公債費比率）は9.9%と三重県内の市の中では最も低く、健全経営を維持しています。

しかし、使ったお金の総額は高く、もう少し節約する必要があり、今後とも、厳しい財政状況ではありますが、市役所内部の改革を進め、人件費などの経費を削減しつつ、学校や福祉施設の充実に努めていきたいと考えます。

引き続き、みなさまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

